

環境保全計画と進捗状況

ミネベアグループが2007年3月期に取り組んだ環境保全活動の計画とその実績・成果、及び2008年3月期の取組計画を紹介します。さらに代表的な取組事例や実績・成果については、詳細ページで紹介していますので、併せてご覧ください。

製品の取り組み

2007年3月期の計画	2007年3月期の活動実績 / 成果	2008年3月期の計画	詳細ページ
【有害化学物質の廃止、削減】 1. 全製品(一部特殊製品除く)のRoHS指令 ^(注1) 対応 2. 自動車用ネジの6価クロム廃止 客先指示により切り換えを実施する 3. スピーカーボックス外装材の非塩化ビニル化を推進	1. 全製品(一部特殊製品除く)のRoHS指令対応完了。管理体制の継続 2. 自動車用ネジについては100%切り替え済み。その他のネジについては客先指示により順次切り替え 3. 約20%の機種について切り替え完了。残りの機種についても客先要求に沿って実施予定	1. 製品に含まれる有害化学物質の廃止、削減 ・RoHS指令、ELV指令 ^(注2) の順守 2. EuP指令 ^(注3) 対応としてのLCA ^(注4) に基づいた環境適合設計システムを推進する ・低消費電力など環境負荷の少ない製品の開発 3. 省資源 ・使用材料の削減	14
【省エネルギー / 地球温暖化の防止】 継続実施	1. 世界最小径ステッピングモーターの開発 2. 低消費電力LEDバックライトの開発		

調達の取り組み

2007年3月期の計画	2007年3月期の活動実績 / 成果	2008年3月期の計画	詳細ページ
【グリーン調達】 グリーン調達の継続実施	グリーン調達継続実施	「ミネベアグループグリーン調達管理要領」第3版を発行予定	17

物流の取り組み

2007年3月期の計画	2007年3月期の活動実績 / 成果	2008年3月期の計画	詳細ページ
【物流の環境配慮】 1. エネルギー消費の少ない輸送手段の利用拡大 2. 環境負荷の少ない梱包材料の採用	1. エネルギー消費の少ない輸送手段の継続 2. リユース・リサイクルバンドの導入	1. エネルギー消費の少ない輸送手段の利用拡大 2. 梱包材、輸送方法の改善	18

用語説明

- 注1 RoHS 指令
 欧州連合(EU)において策定された、電気電子機器に含有される特定有害化学物質の使用を制限する指令。
- 注2 ELV 指令
 欧州連合において使用済み自動車の環境負荷の低減を目的として策定された指令。リサイクル率の設定や環境負荷物質を原則使用禁止。

- 注3 EuP 指令
 欧州連合においてエネルギー使用機器を対象とした環境適合設計の実施を義務づける指令。
- 注4 LCA
 Life Cycle Assessment(ライフ・サイクル・アセスメント)の略。製品の一生(ゆりかごから墓場まで)における環境負荷を定量的に評価する方法。

事業所の取り組み

2007年3月期の計画	2007年3月期の活動実績 / 成果	2008年3月期の計画	詳細ページ
【省エネルギー / 地球温暖化防止】 電力使用量を前期比1%削減 (売上高原単位比)	1. 全世界のミネベアグループ工場 電力使用量合計(実績) 2006年3月期 813,003千kwh 2007年3月期 814,096千kwh 売上高原単位比 2006年 255.30千kwh/億円 2007年 245.93千kwh/億円 注)売上高原単位比が約3.7%減になりました。	電力使用量を前期比1%削減 (売上高原単位比)	7 19 - 21 22、28 20
【オゾン層保護】 エアコン用冷凍機が対象となり、 新設及び交換時にオゾン層破壊物 質を使用しない機種に置き換える	冷凍機の交換実施: 9台	交換予定台数: 8台	19
【廃棄物の3R^(注1)推進】 2009年6月までに廃棄物処理量 を10%削減(2006年3月期比)	全世界のミネベアグループ工場最終 (埋立て)処分量 2006年3月期 4,240トン 2007年3月期 5,627トン(約33%増) 注)集計範囲の見直しを行ったため大幅な増加 となりました。	2009年6月までに廃棄物処理量 を10%削減(2007年3月期比)	7
【水質汚濁防止】 環境法令 / 自主規制値を順守	グループ全工場において法令 / 自主 基準値をクリアー	環境法令 / 自主規制値を順守	8
【大気汚染防止】 環境法令 / 自主規制値を順守	グループ全工場において法令 / 自主 基準値をクリアー	環境法令 / 自主規制値を順守	8
【土壌 / 地下水汚染に対する取り組み】 1. 環境法令 / 規制値を順守 2. 汚染確認事業所における対策 の継続実施	塩素系有機溶剤による汚染対策を 継続的に実施 汚染濃度は改善	1. 環境法令 / 規制値を順守 2. 汚染確認事業所における対策 の継続実施	22
【化学物質の管理】 1. MMDB- の運用充実 2. MMDB- (英語版)の運用充実 3. 蛍光 X 線分析装置を用いた RoHS 規定物質に対応した部 品受入管理の継続徹底 注)MMDB- : 化学物質管理デー タベース	1. MMDB- の運用継続 2. MMDB- (英語版)の運用継続 3. 蛍光 X 線分析装置(XRF)を用い たRoHS規定物質に対応した部 品受入管理の実施 XRF 7台導入	1. MMDB- の運用充実 2. MMDB- (英語版)の運用充実 3. 蛍光 X 線分析装置を用いた RoHS 規定物質に対応した部 品受入管理の継続徹底	22
【環境パトロール】 1. 定例パトロールの継続実施 2. 廃棄物処分業者の定期現地監 査の実施	1. 各事業所毎に、事業所内及び周 囲の環境パトロールを実施 2. 廃棄物処分業者の定期現地監 査の実施	1. 定例パトロールの継続実施 2. 廃棄物処分業者の定期現地監 査の実施	

用語説明

注1 3R: Reduce(リデュース 削減)、Reuse(リユース 再利用)、Recycle(リサイクル 再資源化)の頭文字で、廃棄物の削減についての優先順位を示している。

その他の取り組み

項目	2007年3月期の計画	2007年3月期の活動実績 / 成果	2008年3月期の計画	詳細ページ
環境監査	【内部環境監査】 継続実施	内部監査員による環境監査を実施	継続実施	25
	【外部環境監査】 継続実施	認証機関による審査を実施	継続実施	5
環境教育	【新入社員教育】 継続実施	入社研修時及び部門配属時に、環境に関する新入社員教育を実施	継続実施	23
	【一般社員教育】 継続実施	全従業員への定期的教育を実施	継続実施	23
	【緊急事態への備え】 継続実施	防災訓練、油の流出防止訓練等の実施	継続実施	24
	【社内研修(内部監査員養成研修)】 継続実施	グループ内の内部監査員養成研修を実施。日本国内では2007年3月期に19名が受講(通算181名)	継続実施	25
環境コミュニケーション	【環境保全活動の紹介】 「環境レポート」の発行	1. ホームページよりミネベアの環境保全活動を紹介 2. 「ミネベアグループ環境レポート2006」を発行	「環境レポート2007」の発行	27
	【地域とのコミュニケーション】 地域コミュニケーションの継続	行政や会社見学者にミネベアの環境保全活動を説明するとともに、「ミネベアグループ環境レポート」を配布	継続実施	27
環境社会活動	【清掃活動】 継続実施	各工場で工場周辺の通勤路の清掃活動を実施	継続実施	29
	【植樹 / 工場緑化】 継続実施	各工場で植樹などの緑化を実施	継続実施	22、28
	【地域環境保全活動への支援】 継続実施	各工場で実施 仙台市主催のボランティアの植林活動へ参加	継続実施	—
	【環境保護基金】 基金による地域環境保全活動の継続実施 上海ミネベア淀山湖環境保護基金(1996年4月設立) 基金総額: 1,100万円 (約1億6,700万円)	基金による地域環境保全活動の実施	基金による地域環境保全活動の継続実施	—

注)本表の計画は、一定の前提のもとに作成した将来の計画であり、実際は、さまざまな要素により、これら計画とは異なる場合がありますので、ご了承ください。
弊社と取引を行う際には、当社担当者までお問い合わせください。